

製品名: HSP90 β (リン酸化 Ser226) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04807**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	83kDa

抗原情報

遺伝子名	HSP90AB1
別名	HSP90AB1; HSP90B; HSPC2; HSPCB; Heat shock protein HSP 90-beta; HSP 90; Heat shock 84 kDa; HSP 84; HSP84
遺伝子 ID	3326.0
SwissProt ID	P08238
免疫原	抗血清は、ヒト HSP90B の Ser226 リン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 201-250

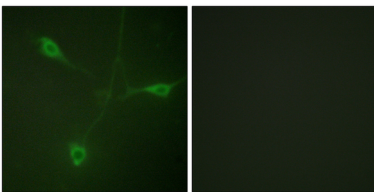
背景

この遺伝子は、熱ショックタンパク質 90 ファミリーのメンバーをコードします。これらのタンパク質は、シグナル伝達、タンパク質の折り畳みと分解、そして形態進化に関与しています。この遺伝子は、細胞質 90 kDa の熱ショックタンパク質の恒常型をコードし、胃のアポトーシスと炎症に関与していると考えられています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。偽遺伝子は複数の染色体上に同定されています。[RefSeq 提供、2012 年 12 月],機能: 分子シャペロン。ATPase 活性を有する。PTM: DNA 損傷時にリン酸化される (おそらく ATM または ATR による)。類似性: 熱ショックタンパク質 90 ファミリーに属する。細胞内局在: ステージ I からステージ IV までのメラノソーム分画において、質量分析法によって同定された。サブユニット: ホモ二量体。TP53/p53 と相互作用する (類似性による)。UNC45A と相互作用する。UNC45A への結合には、HSP90AB1 二量体あたり 2 つの UNC45A モノマーが関与する。

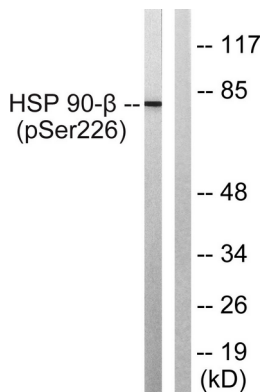
研究分野

PI3K/Akt; タンパク質アセチル化

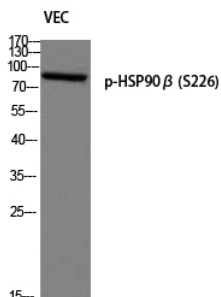
画像データ



HSP90B (リン酸化 Ser226) 抗体を用いた NIH/3T3 細胞の免疫蛍光染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



血清 20% 15% で処理した A549 細胞のライセートを HSP90B (リン酸化 Ser226) 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



p-HSP90β (S226) 抗体を用いた VEC のウェスタンブロット解析。